

		平成16年度	平成17年度	平成18年度	平成19年度	平成20年度	平成21年度	平成22年度
相互運用性実証事業の普及に向けたロードマップ			実証実験のなかで各社、一部のシステムでの対応		一揃いのセットを完成させ、各社製品への反映開始	実証事業終了達成目標: EMR: 20% Cost: 9%		日本版EHRの立上がり。各社製品の相互運用性(院内外)本格化
					各社製品への反映作業 準備・開発・適用			
標準の開発	データの互換性	・利用者情報 ・患者情報(基本情報) ・オーダ情報(処方) ・検査結果(検体検査)	・患者情報(感染症など) ・オーダ情報(検体検査) ・オーダ情報(放射線) ・病名情報 ・注射指示、実施情報	・利用者情報(権限) ・検査結果(レポート、参照画像) ・手術、処置	日本版EHRへ向けた相互運用性の事業推進			
	適用ガイドライン	・患者情報(基本情報) ・検査結果(検体検査)	・オーダ情報(処方) ・病名情報	・患者情報(感染症など) ・オーダ情報(検体検査) ・オーダ情報(放射線)	実証実験	健康情報を含めた健康・医療の総合情報システムにおける相互運用性の実現へのアプローチ		
	システムの相互接続性	・放射線ワークフロー ・臨床検査ワークフロー	・内視鏡検査ワークフロー ・循環器検査ワークフロー	・病理検査ワークフロー				
	システム共通基盤	・SSO仕様の作成 ・HPKI接続実験	・監査証跡 ・電子紹介状の実証実験	・監査証跡ガイド案策定 ・電子紹介状の普及支援		・セキュリティポリシー (プロテクションプロファイル)		
数値目標								
	実証実験参加会社数(目標)		11	16	19			
	病院電子カルテベンダー数		8	11	12			
	病院部門システムベンダー数		3	5	7			
	実証実験参加システム数		15	20	25			
	製品実装数		0	5	10			
	IHEコネクタソン							
	参加会社数	23	29					
	参加システム数	48	62					
成果についての啓蒙と製品への反映		実証実験の進め方について、たたき台を作成して、JAHISプロジェクト推進委員会メンバーの各社で検討する。						
	データ互換性 (コンバージョンツール開発)	アレルギー、患者基本、検査結果、RIS/LIS						
	臨床情報システムへの適用 (PKG改造)	IHEの中で進めることを推進。IHE T/Fへも反映を図る 病名、処方 ⇒ シナリオ 処方監査(オーダの一部、電子カルテの一部)、トウショーのシステム、IHE-IT						
	システムの相互接続性 (PKG改造)	コネクタソンで推進中						
	電子診療情報提供書(電子紹介状) (アドオン開発)	MEDIS-DCで先行実験 電子紹介状の標準化はHELICS承認が前						
標準化普及の施策		実証事業成果はJAHIS標準化推進。HELICS提案へ。						
	JAHIS標準	臨床情報システムへの適用はIHEへの提案へ。						
	HELICS標準							
	ユーザの要求仕様書への反映	技術部会にて案出、相互運用性普及推進懇談会との連携予定						
	HL7開発支援ツールの開発・提供	H16年度JAHIS標準化成果に基づく機能開発		H17年度版の配布、普及活動 H17年度JAHIS標準化成果に基づく機能開発		H18年度版の配布、普及活動 H18年度JAHIS標準化成果に基づく機能開発		
	実フィールド(病院)での実験	データの互換性等の実フィールドでの実験を計画立案						
	普及への課題の整理と対応	課題の整理の実施		課題の対応策推進 &レビュー		課題の対応状況のレビュー &再度の推進		